静止画を撮影する

カメラの正しい構えかた

カメラは、片手で持つと手ブレの原因になります。両手でしっか り持って撮影してください。

- 誤ってカメラを落とすことのないように、必ずストラップを 取り付け、ストラップに指や手首をかけて操作してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないで ください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。





図のように持ち、脇をしっか り締めてください。

レンズよりフラッシュが上に くるように持ちます。 重要

 指やストラップが図に示す部分をふさがないようにしてく ださい。

AF補助光/セルフタイマーランプ マイク



参考

シャッターを押し切った瞬間にカメラがぶれたり、オートフォーカス動作中(シャッター半押し時)にカメラがぶれると、きれいな画像が撮れません。正しく構えて、シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間にカメラが動かないようにしてください。特に暗い場所で撮影するときはシャッター速度が遅くなるので、注意してください。

撮影する

モードにする 液晶モニターに、被写体(人 や風景など)と、オート撮影

アイコン"□"が表示され

ていることを確かめます。

オート撮影アイコン"□"

以外のアイコンが表示され



2. ピントを合わせる

えます(63ページ)。

フォーカスフレームを被写体に合わせ、シャッターを半押 しします。

オートフォーカス機能で自動的にピントが合い、フォーカ スフレームと動作確認用ランプが緑になります。また、絞り 値、シャッター速度、ISO感度が自動的に決まります。



3. 撮影する

ピントが合った状態でシャッターを最後まで押し込みます。



撮影した静止画は、順次、メモリーカードまたはカメラの内蔵メ モリーに保存されていきます。

参考

- ほど光の入り口は狭くなります。本機では、自動的に調節さ れます。
- シャッター速度は、光を取り入れる時間を示します。シャッ ター速度が遅いほど光を取り入れる時間が長くなります。 液晶モニターに表示されるシャッター速度の単位は秒です (1/1000秒など)。本機では、自動的に調節されます。

ピントが合っていない場合

フォーカスフレームが赤のままで、動作確認用ランプが緑に点 滅しているときは、ピントが合っていません(被写体との距離が 近すぎるときなど)。もう一度カメラを被写体に向け直して、ピ ント合わせをしてみてください。

撮影した静止画を確認するには

撮影した静止画は少しの間液晶モニターに表示されますが、 すぐに消え、次の撮影ができる状態になります。 撮影した静止画をゆっくり確認したいときは、【▶】(再生) を押して再生モードにします。【◀】【▶】を押すと、前後の画 像を確認することができます。

撮影モードに戻るには

【 🖸 】(撮影)を押します。

■ シャッターを半押しせずに一気に押し込んだときは

シャッターを半押しせずに一気に押し込んでも、静止画を撮影 することができます。ただし、クイックシャッター(79ページ)の 設定状態により、カメラは次のように動作します。

クイックシャッターが"入"のときは

通常のオートフォーカスよりはるかに高速でピントを合わせる ので、シャッターチャンスを逃さず撮影できます。動きの速い被 写体を撮影するときに便利です。

- 正確にピントが合わない場合があります。
- お買い上げ時はクイックシャッターが働く状態になっています。

クイックシャッターが"切"のときは

通常のオートフォーカス機能によりピントを合わせたあと撮影 します。

- シャッターを押し続けると、ピントが合わなくても撮影されます。
- 多少時間がかかっても正確にピントを合わせたい場合は、 シャッターを半押ししてピントを合わせたあと撮影してくだ さい。

画像サイズを決める

デジタルカメラの画像は、小さな点(画素・pixels)の集まりです。 画像サイズとは、その画像がいくつの画素でできているかを示 すもので、横×縦の画素数で表します。お買い上げいただいたと きは、10M (3648×2736)(画素・pixels)で撮影するように設定 されています。画像サイズが大きいほど、メモリーに保存できる 枚数が少なくなります。

- 画像サイズ、画質と保存できる枚数→174ページ ここでの設定は、静止画撮影時のみ有効です。
- 動画の画像サイズについて→59ページ
- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの1番上の項目(画像サイズ)を 選ぶ
- 3. 【◀】【▶】で画像サイズを選び、【SET】を押す

参考

- 画像サイズを選ぶ操作中は、以下の情報が切り替わり表示 されます。
 - 画素数で示す画像サイズ(1600×1200など)
 - 最適なプリント用紙のサイズ
 - 撮影可能枚数

画素数(pixels)		プリント用紙のサイズ	
	10M	3648×2736	ポスタープリント
大きい	3:2	3648×2432	ポスタープリント
t	16:9	3648×2048	HDTVサイズ
	5M	2560×1920	A3プリント
Ļ	ЗM	2048×1536	A4プリント
小さい	2M	1600×1200	L判プリント
	VGA	640×480	Eメール

- 3:2(3648×2432 pixels)を選ぶと、プリント用紙の一般的な横縦の比率(3:2)に合うように、画像を3:2の比率で撮影します。
- HDTVとはHigh Definition TeleVision(高精細テレビ)の略で す。HDTVの画面の横縦比は16:9で、従来のテレビの画面 (4:3)より横長(ワイド画面)になります。本機はこのHDTVの 画面(ワイド画面)の横縦比に合わせて撮影することができま す。
- VGA(640×480 pixels)は、Eメールで画像を送るときに最適 なサイズです。
- プリント用紙のサイズは、あくまでも参考のサイズとお考え ください(印刷解像度が200dpiの場合)。

画質を決める

本機では、「高精細-F」(画質優先)、「標準-N」、「エコノミー-E」(撮 影枚数優先)のいずれかの画質を選ぶことができます。お買い上 げいただいたときは、「標準-N」で撮影されるように設定されて います。画質を優先したいときは「高精細-F」を、撮影枚数を優先 したいときは「エコノミー-E」を選んでください。

- ・ 画像サイズ、画質と保存できる枚数→174ページ ここでの設定は、静止画撮影時のみ有効です。
- 動画の画質について→59ページ
- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "画質設定"タブ→"画質"と選び、【▶】を押す
- **3.** 【▲】【▼】で画質を選び、【SET】を押す

参考

 枝や木の葉が密集しているようなきめ細かい自然画や複雑 な模様を撮影するときは、「高精細-F」にすることで、緻密な 画質で撮影できます。

AF補助光の発光をやめる

AF補助光とは、暗い場所での撮影 のときなどにピント合わせをしや すくするために、シャッターを半押 ししているときに必要に応じて発 光する光のことです。AF補助光発 光時は、AF補助光/セルフタイ マーランプが点灯します。明るい場 所では、AF補助光は発光しません。 お買い上げいただいたときはAF補 助光が発光するように設定されています。



至近距離で人物などを撮影するときは、次のように操作してAF 補助光が発光しないようにすることをおすすめします。

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "撮影設定" タブ→"AF補助光" と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で"切"を選び、【SET】を押す

AF補助光を発光させる場合は、ここで"入"を選びます。

🗰 重要

 AF補助光/セルフタイマーランプをのぞいたり、人の目に 当てないでください。

静止画撮影時のご注意

■ 操作について

- 動作確認用ランプが緑に点滅しているときに電池カバーを開けないでください。今撮影した画像が正しく保存されない、記録されている画像が壊れてしまう、カメラが正常に動作しなくなる、などの原因になります。
- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

■ 撮影時の画面について

- 液晶モニターに表示される被写体の画像は、確認のための画像です。実際は、設定した画質で撮影されます。
- 被写体の明るさにより、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出ることがあります。

■ 蛍光灯の部屋での撮影について

蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体に対しては、ピントが正確に合わないこと があります。
 - 階調のない壁など、コントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 明るく光っている被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - AF補助光が届かないほど遠くにある被写体
 - 手ブレをしているとき
 - 動きの速い被写体
 - 撮影範囲外の被写体
- 動作確認用ランプが緑色に点灯している、またはフォーカス フレームが緑になっている場合でも、ピントが合わないこと があります。ピントが合わない場合は、フォーカスロック(79 ページ)やマニュアルフォーカス(80ページ)で撮影してみて ください。



本機では、光学ズーム(レンズの焦点距離を変える方式)で3倍ま で、デジタルズーム(画像中央をデジタル処理で拡大する方式) でさらに12~45.2倍(光学ズームとの併用)までのズーム撮影 ができます。デジタルズームの倍率は、画像サイズ(41ページ)の 設定によって異なります。

重要

- デジタルズームでは、倍率が高くなるほど撮影画像は粗く なります。ただし、本機では一部粗くならずに撮影できる範 囲があります(45ページ)。
- タイムスタンプ(86ページ)を設定して撮影すると、デジタ ルズームは働きません。
- 1. 撮影モードにする
- **2.** ズームレバーをスライド [**!!!**][**!**]ズームレバー させて、ズームの倍率を変 える 【「▲】】(望遠):被写体が大き D-0 (+++) ON/OFF くなり、写る範囲が狭くなり ます。 【[+++]](広角):被写体が小さ くなり、写る範囲が広くなり ます。
 - →「光学ズームとデジタルズームの切り替えポイント」(45) ページ)

DAT C



3. シャッターを押して撮影する

参考

- 光学ズームを働かせると、レンズの絞り値が変わります。
- 望遠で撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をお すすめします。
- 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズーム のみ使用できます。シャッターを押す前であれば、光学ズー ムは使用できます。

光学ズームとデジタルズームの切り替えポイント 手順2で【〔4〕】にズームレバーをスライドさせたままにすると、 光学ズームの倍率が最も高くなったところでズーム動作が停止 します。いったん離し、続けて【〔4〕】にズームレバーをスライド させるとデジタルズームも作動し、さらにズームの倍率が高く なっていきます。

 デジタルズームに切り替わると、液晶モニターにデジタル ズーム表示が現われます。また、ズームバーでおおよその倍率 を確認することができます。





● 各画像サイズでのズーム倍率の違い

	画像に劣化た (HDズ-	が生じない範囲 画像ん ーム含む) 生じる	こ劣化が る範囲
		↓ → ∢	, [∳]
10M	1倍	3倍	12倍
3:2	1倍	3倍	12倍
16:9	1倍	3倍	12倍
5M	1倍	4.3倍	17.1倍
ЗM	1倍	5.3倍	21.3倍
2M	1倍	6.8倍	26.5倍
VGA	1倍	17.1倍	45.2倍

- デジタルズームの倍率は画像サイズ(41ページ)の設定によって異なります。画像サイズが小さいほど高倍率になります。
- 一般的にデジタルズームを使用した画像は粗くなりますが、
 本機では、画像サイズが"5M(2560×1920 pixels)"以下の場合、画像は粗くならない範囲があります(HDズーム)。液晶モニターには、デジタルズームしても劣化しない倍率の境界が表示されており、その境界までは劣化せずにズームできます。
 劣化しない倍率は、画像サイズによって変化します。
- "オートフレーミング"では、画像サイズが"5M(2560×1920 pixels)"になりますが、画像に劣化が生じない範囲は、3倍とな ります。

デジタルズームをオフにする

ズームレバーを【「】】にスライドしても、デジタルズームを使わないようにすることができます。ズームによって画像を劣化させたくないときにご利用ください。

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "撮影設定" タブ→"デジタルズーム"と選び、【▶】を押す
- 3. 【▲】【▼】で"切"を選び、【SET】を押す
 - デジタルズームを使えるようにするには、ここで"入"を 選びます。

フラッシュを使う

撮影条件に合わせて、フラッシュの発光方法を切り替えること ができます。

発光方法	説明
5 ▲ フラッシュ オート	露出(光の量や明るさ)に応じて自動的に発 光します。 ● お買い上げ時の設定です。
③ 発光禁止	フラッシュは発光しません。
	 フラッシュは常に発光します。 日中、逆光で被写体が暗く写るときに設定すると、明るく撮影できます(日中シンクロ撮影)。
🕻 ソフト発光	露出に関係なく光量を抑えて発光します。フラッシュの反射など光量を抑えたい場合に使用します。
◎ 赤目軽減	フラッシュオートと同じように自動発光し ます。フラッシュ撮影時に、人の目が赤く写 る現象を軽減することができます。

フラッシュが届く範囲(ISO感度:オート時)

広角時:約0.1m~約3.3m

望遠時:約0.5m~約1.8m

• 光学ズームに合わせて撮影範囲は変化します。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から2番目の項目(フラッシュ)を選ぶ
- 【◀】【▶】で発光方法を選び、【SET】を押す
 液晶モニターにフラッシュの発光方法が表示されます。



4. シャッターを押して撮影する

参考

・操作パネルが"切"(34ページ)のときは、【▼】(4 1)を押すことで発光方法を選ぶことができます。

🜞 重要

フラッシュ撮影時は、フラッシュが指やストラップで隠れないようにしてください。



赤目軽減について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く 写ることがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射す るために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮 影する前に赤目用プリ発光(写される人の瞳孔を小さくするた めにフラッシュが発光)することにより、人の目が赤く写ること を軽減します。



- 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意して ください。
 - 写される人がフラッシュを注視していないと効果がありません。撮影する前にフラッシュを見るように声をかけておいてください。
 - 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

■ フラッシュの状態を確認する

シャッターを半押ししてピント合わせをしているとき、液晶モニ ターや動作確認用ランプでフラッシュの状態を確認できます。

動作確認用ランプ

フラッシュ充電中はオレンジに点滅します。



フラッシュ発光時は" 🗲 "を表示

充電が完了して動作確認用ランプのオレンジ色の点滅が消えるまでは、次のフラッシュ撮影はできません。

■ フラッシュの強さ(光の量)を変える

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "画質設定"タブ→"フラッシュ光量"と選び、【▶】を押す
- 【▲】【▼】でフラッシュの強さを選び、【SET】を押す -2(最も弱い)から+2(最も強い)の5つから選べます。



被写体が遠すぎたり近すぎたりする場合、強さが変わらないことがあります。

フラッシュ撮影時の光量不足を補う (フラッシュアシスト)

フラッシュが届く範囲よりも遠い被写体を撮影すると、フラッ シュの強さが充分でないため、被写体が暗く写ってしまうこと があります。フラッシュアシスト機能を使うと、撮影した被写体 の明るさを補正し、フラッシュの光が遠くへ届いたときと似た 効果が得られます。





フラッシュアシスト機能を 使わないと

フラッシュアシスト機能を 使うと

お買い上げいただいたときはフラッシュアシスト機能が働くように設定されています。

フラッシュアシスト機能を使わないときは、次のように操作します。

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- "画質設定"タブ→"フラッシュアシスト"と選び、【▶】を 押す

3. 【▲】【▼】で"切"を選び、【SET】を押す

フラッシュアシスト機能を使うときは、ここで"オート"を 選びます。

重要

- 被写体によっては思ったような効果が得られないことがあります。
- 下記の操作を行うと、フラッシュアシスト機能を使っても 撮影結果にほとんど変化が表れないことがあります。
 - フラッシュの強さを変えたとき(48ページ)
 - 明るさを補正(EVシフト)したとき(81ページ)
 - ISO感度を切り替えたとき(83ページ)
 - コントラストの設定を切り替えたとき(86ページ)

■ フラッシュ使用時のご注意

- 被写体までの距離が遠かったり近かったりすると、適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電時間は、使用条件(電池の状態や周囲の温度 など)により異なります。フル充電の電池では、数秒~7秒程度 かかります。
- 暗い場所でフラッシュを発光禁止にして撮影すると、シャッ ター速度が遅くなり、手ブレの原因になります。カメラを三脚 などで固定してください。
- 赤目軽減機能では、フラッシュは露出に合わせて自動的に発 光します。明るい場所では発光しません。
- 外光や蛍光灯など他の光源があると、色味が変わることがあります。

セルフタイマーを使う

シャッターを押してから一定の時間後にシャッターが切れる (撮影される)ようにすることができます。

セルフタイ マーの種類	説明
义 10秒	10秒後に撮影されます。
ಲ್ಲಿ 2秒	2秒後に撮影されます。 • シャッター速度が遅くなる条件下で撮影す るときに使うと、手ブレ防止ができます。
♀゚҉ x3 (トリプルセル フタイマー)	10秒後に1枚、その後、次の撮影準備完了の1秒 後に1枚、その次の撮影準備完了の1秒後に1枚 の計3枚撮影されます。
切	セルフタイマー撮影はできません。

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "撮影設定"タブ→"セルフタイマー"と選び、【▶】を押す
- (▲) (▼)でセルフタイマーの種類を選び、[SET]を押す
 液晶モニターにセルフタイ

マーの種類が表示されます。



4. シャッターを押して撮影する

参考

動画撮影時は操作パネル(34ページ)を使用して、セルフタイマーの種類を切り替えることもできます。

セルフタイマーを使って撮影すると

- シャッターを押してもすぐには 撮影せず、設定した時間が経過す ると撮影されます。設定した時間 をカウントしている最中は、AF 補助光/セルフタイマーランプ が赤に点滅します。
- カウントダウン中にシャッター を全押しすると、セルフタイマー を解除することができます。

参考

- トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると "1sec"と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準備がで きるまでの時間は、画像サイズ、画質の設定やメモリーカー ドの有無、フラッシュの充電状態によって異なります。
- 下記の撮影では、全てのセルフタイマーが使用できません。
 通常連写、高速連写
 - ベストショット撮影の一部("レイアウトショット"、
 "オートフレーミング"、"ショートムービー"、"パストムービー"、"ボイスレコード")
- 下記の撮影では、トリプルセルフタイマーが使用できません。
 - ベストショット撮影の一部("名刺や書類を写します"、
 "ホワイトボードなどを写します"、"古い写真を写します"、"証明写真"、"ムービー"、"YouTube")

- フラッシュ連写

AF補助光/ セルフタイマーランプ

何枚も連続して撮影する(連写)

本機は4種類の連写(連続撮影)ができます。

連写の種類	説明
 通常連写 モード 	メモリーの空き容量いっぱいまで連続撮影 ができます。
凹 高速連写 モード	通常連写よりも速い間隔で、メモリーの空き 容量いっぱいまで連続撮影ができます。ただ し、記録する画像サイズは、2M(1600× 1200 pixels)に固定になります。
2] フラッシュ 連写モード	フラッシュを発光し、最大3枚まで連続撮影 ができます。
同 ズーム連写 モード	液晶モニターに表示された画像と被写体の 一部を拡大した画像を同時に記録すること ができます。

連写の種類を選ぶ

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "撮影設定"タブ→"連写"と選び、【▶】を押す
- 3. 【▲】【▼】で連写の種類を選び、【SET】を押す

液晶モニターに連写の種類が表示され、連写モードになり ます。

連写モードを解除するときは、"切"を選びます。

通常連写モード/高速連写モード/フラッシュ 連写モードで撮影する

1. シャッターを押して撮影する

- 通常連写モード、高速連写モードではシャッターを押し 続けている間、連続撮影します。シャッターから指を離す と、撮影を停止します。
- フラッシュ連写モードではシャッターを押し続けている 間、最大3枚まで連続撮影します。3枚撮影する前にシャッ ターから指を離すと、撮影を停止します。

🗼 重要

通常連写、高速連写の速度は、使用するカードの種類やメモリーの空き容量によって異なります。内蔵メモリーを使用すると連写の速度は遅くなります。

ズーム連写モードで撮影する

左側の画像で、拡大して記録したい部分を【▲】【▼】
 【●】で枠囲みにして、
 【SET】を押す右側には枠で囲んだ部分が拡大して表示されます。



2. シャッターを押して撮影する

左側の画像と右側の画像の2枚の画像が同時に記録されます。

¥ 重要

- ズーム連写モードでは、撮影する際にシャッターを押し続ける必要はありません。
- ズーム連写モードでは、下記の機能は使用できません。
 デジタルズーム
 - 顔認識
- 画像サイズの設定が"3:2(3648×2432 pixels)"、"16:9 (3648×2048 pixels)"の場合、ズーム連写はできません。
- 画像サイズを"10M(3648×2736 pixels)"、"5M(2560× 1920 pixels)"に設定して撮影した場合の拡大された画像 は、画像のサイズが"3M(2048×1536 pixels)"となります。
- ピント合わせの方法をオートフォーカスに設定した場合、 ズーム連写時の測定範囲(AFエリア)は、拡大場所を指定す るための枠の中心(スポット)に自動的に切り替わります (78、84ページ)。

連写時のご注意

- 連写では、露出/フォーカス位置は1枚目を撮影した際に固定 されますので、2枚目以降は1枚目と同じ露出/フォーカス位 置で撮影されます。
- 下記の撮影では、連写はできません。
 - ベストショット撮影の一部("レイアウトショット"、"オートフレーミング"、"名刺や書類を写します"、"ホワイトボードなどを写します"、"古い写真を写します"、"証明写真"、 "ムービー"、"ショートムービー"、"パストムービー"、 "YouTube"、ボイスレコード")

- 連写中は、撮影が終了するまで、カメラを動かさないように注意してください。
- 連写中にメモリーの残り容量が足りなくなった場合、連写は 途中で終了します。
- 連写の速度は、設定されている画像サイズや画質によって異なります。
- 通常連写では、フラッシュモードを切り替えることができます。
- 高速連写では、フラッシュは自動的に " 🐼 " (発光禁止)とな ります。
- フラッシュ連写では、フラッシュは自動的に" ✓ "(強制発光)となります。
- 通常連写/高速連写では、セルフタイマーは使用できません。
- フラッシュ連写では "×3" (トリプルセルフタイマー)が使用 できません。
- 高速連写/フラッシュ連写は、通常の撮影と比較すると、解像 感が多少落ちたり、ノイズが多少増えます。
- 高速連写/フラッシュ連写では、ISO感度がどこに設定されていても常に"オート"に設定されます。
- フラッシュ連写では、フラッシュ撮影範囲が狭くなります。

静止画に音声を加える(音声付き静止画)

静止画に音声を付け加える(録音する)ことができます。撮影し た静止画の説明を自分の声で録音する、その場の雰囲気も音で 一緒に残す、撮影された人の言葉も残すなど、自由にご利用くだ さい。

• ひとつの静止画につき、最長約30秒まで録音できます。

■ 音声が録音できる状態にする

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "撮影設定"タブ→"音声付静止画"と選び、【▶】を押す
- 3. 【▲】【▼】で"入"を選び、【SET】を押す

■ 音声を録音する

シャッターを押して、静止 画を撮影する

撮影した画像とともに"**『」**" が表示されます。

 録音しないときは、 【MENU】を押します。次の 静止画を撮影できる状態 になります。



録音可能時間

- 2. もう一度シャッターを押して録音を開始する
- さらにもう一度シャッターを押して録音を終了する シャッターを押さなくても、約30秒経過すると録音は終了 します。
 - ・ 音声付き静止画撮影をやめて、通常の静止画撮影に戻る ときは、「音声が録音できる状態にする」の手順3で"切"を 選びます。

録音した音声を聞くには

再生モードで音声付きの静止画を表示すると、液晶モニターに "**」**"が表示されます。

【SET】を押すと、音声の再生が始まります。

• 操作について詳しくは93ページをご覧ください。

¥ 重要

- 指などでマイクをふさがな いようにご注意ください。
- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。

マイク



参考

- 音声付き静止画は、パソコンに保存して、QuickTimeで再生 することができます(143、152ページ)。
- 音声付き静止画のデータ形式などは以下のとおりです。
 - 画像形式: JPEG (拡張子は, JPG)
 - 録音形式:WAVE/ADPCM記録形式(拡張子は.WAV)
 - 音声ファイルサイズ:約165KB(約5.5KB/秒で30秒間 録音時)
- 音声録音中に【▲】(DISP)を押しても、液晶モニターは切り 替わりません。
- トリプルセルフタイマーを使った撮影、および連写撮影では、音声付きの静止画撮影はできません。ただし、撮影後の静止画に音声を追加することができます(113ページ)。

人物の顔をきれいに撮影する(顔認識)

人物を撮影するとき、人物の顔に優先的にピントや明るさを合わせ て撮影することができます。以下の2つの顔認識の方法があります。

顔認識の方法	説明
口 通常認識モード	 人物の顔を検出し、ピントや明るさを合わせて撮影します。 画面の中から複数の顔を見つけた場合は、その中で画面中央に近い比較的大きな顔を優先して撮影します。
(♥)● ファミリー優先 認識モード	人物の顔を検出し、画面の中から複数の人物 の顔を見つけた場合に、あらかじめ「ファミ リー登録」で登録されている特定の人物の顔 を最優先して撮影します。

人物の顔を検出して撮影する(通常認識モード)

1. 撮影モードにして【SET】を押す

 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識) を選ぶ



- 3. 【◀】【▶】で" 🖸 顔認識:通常認識"を選び、【SET】を押す
- 人物の顔を検出します。検出 が終了すると、検出した顔に フレームが表示されます。



5. シャッターを半押しする

ピントの合った顔のフレームが緑色に変わります。

6. シャッターを全押しして撮影する

顔の明るさが適切になるように調整して撮影します。

参考

 ・ 顔認識撮影時にAFエリアを"
 ・ 追尾"に設定すると、
 シャッターを半押ししたとき、顔の動きに合わせてフォー
 カスフレームが追尾します(78ページ)。

特定の人物の顔を最優先して撮影する (ファミリー優先認識モード)

家族など特定の人物の顔をデータ登録する (ファミリー登録)

ファミリー優先認識モードでは、あらかじめ撮影時に優先させ たい家族や友人の顔データをカメラに登録しておく必要があり ますので、初めにファミリー登録を行ってください。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識)を 選ぶ
- 3. 【◀】【▶】で" 🔯 ファミリー登録"を選び、【SET】を押す
- 4. 登録したい人物の顔に対して正面からカメラを向け、顔の大きさが画面のフレームに合うようにして、シャッターを押す



「認識に成功しました」と表示されたら、【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押す

人物の顔データが登録され、撮影できる状態に戻ります。

 登録をやりなおしたいときは、"キャンセル"を選んでく ださい。

参考

- 人物の顔データは最大6人分まで登録できます。
- 登録した人物の顔データは、内蔵メモリー内の「FAMILY」 フォルダに保存されます(155ページ)。このフォルダ内の データに手を加えると、カメラが正常に動作しなくなる恐 れがありますので、消去したり編集したりしないようにご 注意ください。

登録した顔データの優先順位を設定する (ファミリー編集)

人物の顔データをカメラに登録したら、その顔データに名前と 撮影時の優先順位を設定します。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識)を 選ぶ
- 【◀】【▶】で"♥ ファミリー 編集"を選び、【SET】を押す 顔データの編集画面が表示さ れます。



 【▲】【▼】【▲】【▶】で設定したい顔データを選び、【SET】 を押す

- 5. 【◀】【▶】で名前を選び、【▼】を押す
 - 名前はあらかじめ用意されている12種類の中から設定で きます。
- **6.** 【◀】【▶】で撮影時の優先順位を選び、【SET】を押す
 - ・優先順位は"・・★"(低)~"★★★"(高)の4段階の間 で設定できます。"・・・"(無効)に設定すると、その顔は 認識されなくなります。

ファミリー登録した顔データを消去する

登録した顔データは、以下の手順で消去することができます。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識)を 選ぶ
- 3. 【◀】【▶】で" 💁 ファミリー編集"を選び、【SET】を押す

4. 【MENU】を押す

- 5. 通常の消去方法(121ページ)と同様に操作して、人物の 顔データを1データずつ、または一括して消去する
 - 消去をやめるには、【MENU】を押してください。

参考

内蔵メモリーをフォーマット(129ページ)すると、登録した顔データはすべて消えてしまいます。

ファミリー登録/編集した人物の顔を最優先して 撮影する

ファミリー登録/編集が終了後は、家族や友人など優先順位を 付けた人物の顔を最優先して撮影することができます。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識)を 選ぶ
- **3.** 【◀】【▶】で" 🔤 顔認識:ファミリー優先"を選び、【SET】 を押す
- 4. 人物にカメラを向ける 登録した顔データの人物の顔 を検出します。検出が終了す ると、検出した顔にフレーム が表示されます。



- フレームの色は、撮影時の 優先順位に合わせて"白"
 (低)→"黄"→"緑"(高)と色分け表示されます。"緑"のフレームの人物が撮影時に最優先の人物となります。
- 5. シャッターを半押しする

ー番優先順位の高い顔(フレームが緑色の顔)にピントと明 るさを合わせます。ピントと明るさが合うと、緑色のフォー カスフレームが表示されます。 6. シャッターを全押しして撮影する

参考

 ファミリー優先認識モードでは、AFエリアは"区 追尾"に 設定されます(78ページ)。

人物の顔の検出方法を設定する(優先設定)

人物の顔を検出するとき、検出する速度と検出する人数のどち らかを優先させることができます。

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(顔認識)を 選ぶ
- 3. 【◀】【▶】で" 1 優先設定"を選び、【SET】を押す

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

- スピード優先:顔を検出するまでにかかる時間を短くでき ます。ただし、一度に検出できる顔は最大5人 までです。
- 人数優先 :一度に検出できる顔を最大5人から最大10人 に増やします。

参考

 通常認識モードで撮影時に"人数優先"に設定すると、"ス ピード優先"に設定したときよりも距離が遠くて小さい顔 が検出できるようになります。

顔認識撮影時のご注意

- 一度に検出できる人物の顔は、優先設定が"スピード優先"の ときに最大5人、"人数優先"のときに最大10人です。
- 次のような人物は、顔が検出できません。
 顔の一部が頭髪、サングラス、帽子などでさえぎられている 人物
 - 顔に濃い影が落ちている人物
 - 顔が横や斜めに傾いている人物
 - 顔が横向きの人物
 - 距離が遠すぎて、顔が小さすぎる人物
 - 距離が近すぎて、顔が大きすぎる人物
 - 極端に暗い場所での人物
- ペットなど人物以外の被写体の顔は検出されません。
- ファミリー登録されている人物であっても、表情などの状況 や周囲の環境によっては正しく認識(最優先)されない場合が あります。
- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて重複登録しておくことで、その人物の認識率を向上させることができます。
- ファミリー優先認識モードでは、顔が同一人物かどうかの照 合を行うため、通常認識モードよりも顔の検出速度がやや遅 くなります。また、通常認識モードと比べて、距離が遠くて小 さい顔の認識はできません。
- 顔が見つからない状態でシャッターを押すと、中央にピント を合わせて撮影します。

- ・ 顔認識撮影時のフォーカスモードは必ずオートフォーカス
 (AF)となります。それ以外のフォーカスモードは使用できま
 せん。
- カメラを縦に持って撮影した場合、横に持って撮影した場合 と比べ、顔を検出するまでにやや時間がかかります。
- 下記の撮影では、顔認識撮影はできません。
 - ベストショット撮影の一部("名刺や書類を写します"、"ホ ワイトボードなどを写します"、"古い写真を写します"、"証 明写真"、"ムービー"、"ショートムービー"、"パストムー ビー"、"YouTube"、"レイアウトショット"、"オートフレー ミング"、"ボイスレコード")
- 顔認識撮影では、下記の機能が使用できません。
 - AFエリアのマルチAF
 - ズーム連写

動画を撮影する

動画の画質を決める

撮影前に、動画の画質を選びます。動画の画質とは、再生したと きの画像のきめ細かさや滑らかさ、美しさを示す目安です。画質 を高品位にすると美しく撮影できますが、撮影できる時間は短 くなります。

動画の撮影可能時間は、最大10分となります。10分を超えると、自動的に撮影は終了します。

画質(pixels))	転送レート	フレームレート
UHQ	640×480	約5.8メガビット/秒	25フレーム/秒
UHQワイド	848×480	約7.0メガビット/秒	25フレーム/秒
HQ	640×480	約2.8メガビット/秒	25フレーム/秒
HQワイド	848×480	約3.4メガビット/秒	25フレーム/秒
Normal	640×480	約1.4メガビット/秒	25フレーム/秒
LP	320×240	約545キロビット/秒	12.5フレーム/秒

- 1. 撮影モードにして【MENU】を押す
- 2. "画質設定"タブ→" 🖸 画質"と選び、【▶】を押す
- **3.** 【▲】【▼】で希望の画質を選び、【SET】を押す
 - 画質を"UHQワイド"または"HQワイド"に設定すると、 液晶モニターに" Wine" が表示されます。

動画の形式

撮影した動画は、MOV形式、H264/AVC準拠で記録されます。 本機で撮影した動画は、パソコンにコピーしてQuickTime 7で 再生することができます。

動画のサイズ

1分間撮影した動画のファイルサイズは、おおよそ以下のとおりです。

画質	サイズ
UHQ	約43.3MB
UHQワイド	約52.3MB
HQ	約20.8MB
HQワイド	約25.3MB
Normal	約10.4MB
LP	約4.1MB

動画を撮影する(ムービー)

動画とともに音声も記録されます。音声はモノラルです。

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【◀】【▶】で" I ムービー"のシーンを選び、 【SET】を押す 液晶モニターに" I が表示されます。
- **3.** シャッターを押して撮影を 開始する
- 撮影可能な残り時間
- 撮影中は、"●REC"が表示されます。
- **4.** もう一度シャッターを押し て撮影を終了する
 - 動画の撮影可能時間は、
 1回の撮影で最大10分までです。シャッターを押す前

撮影時間

に10分を超えると、自動的に撮影は終了します。また、 シャッターを押す前にメモリーがいっぱいになると、撮 影は終了します。

動画撮影時の手ブレ軽減

動画を撮影するとき、手ブレを軽減しながら撮影することがで きます(66ページ)。ただし、ブレ軽減できるのは手ブレだけで、 被写体ブレには効果がありません。また、画角が狭くなります。

動画撮影時のご注意

- フラッシュは使えません。
- 音声も同時に記録されますので、 次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがない でください。
 - - 録音の対象がカメラから遠く
 に離れると、きれいに録音され
 ません。



マイク

- 撮影中にボタン操作をすると、 操作音が録音されることがあります。
- 極端に明るい被写体を撮影しようとすると、液晶モニターの 画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があ ります(スミア現象)が、故障ではありません。この帯は動画に そのまま記録されます。
- 使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、 コマ落ちする場合があります。このとき、"ご"と" ***** "が点 滅します。このため、最大転送速度が10MB/s以上のメモリー カードの使用をおすすめします。
- 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームの み使用できます。シャッターを押す前であれば、光学ズームは 使用できます(44ページ)。
- アップで撮影したり、高倍率ズームにしたとき、被写体のブレ が目立つため手ブレにご注意ください。三脚を使用すること をおすすめします。
- カメラの撮影範囲外ではピントが合わず、ぼけた画像になります。
- 動画は静止画の撮影時に比べ、画角が狭くなります。

短時間の動画を撮影する(ショートムービー)

シャッターを1回押すと、その前後の4秒間が動画として記録されます。

- シャッターを押す前の4秒も記録されるので、子供のちょっとしたしぐさなど、撮りのがしたくないシーンをしっかり記録できます。
- 決定的シーンの静止画がほしいときは、ショートムービーで 撮影し、そこから気に入ったシーンをモーションプリント機 能(112ページ)で静止画にする、という使いかたもできます。



- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【◆】【◆】【◆】で"ショートムービー"のシーンを選び、【SET】を押す

液晶モニターに、"**!**"が表示されます。 シャッターを押す前後約4秒の動画を撮影できます。 カメラを被写体に向け、シャッターを押す 後半4秒間の動画が記録され、撮影は終了します。
 早めに撮影を終了したいときは、もう一度シャッターを押します。

🗰 重要

シャッターを押す前から、動画の記録は始まっています。カメラをしっかり被写体に向けておいてください。ここだ、と思ったときにシャッターを押します。シャッターを押すと、押した後の撮影時間が4、3、2、1・・・とカウントダウン表示されます。

撮影開始前のシーンも動画に記録する (パストムービー)

パストムービーは、シャッターを押して撮影開始、もう一度 シャッターを押して撮影終了する点は普通のムービーと同じで すが、撮影を開始する約5秒前から動画が記録されます。決定的 シーンの撮りのがしを防ぐことができます。



- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【▲】【◆】【●】で"パストムービー"のシーンを選び、 【SET】を押す

3. カメラを被写体に向け、シャッターを押して撮影を開始 する 4. もう一度シャッターを押して撮影を終了する シャッターを押す前にメモリーがいっぱいになると、撮影 は終了します。

¥ 重要

シャッターを押す約5秒前から動画の撮影が始まっていますので、シャッターを押す前もしっかりとカメラを構えていてください。

撮りたいシーンを選んで撮影する(ベストショット)

逆光で人物を撮影したら顔が黒く写ってしまった、またはサッ カーの試合を撮影したら選手の姿がプレて写ったなど、被写体 や撮影条件によっては望みどおりの写真が撮れないことがあり ます。そのようなときは、本機に収録している撮影シーンから、 望みのイメージに合ったシーンを選んでみてください。操作は 【BS】を押して適切なシーンを選ぶだけです。

■ 撮影シーンの例

"人物を写します"



"夜景を写します"





"風景を写します"

"人物と夜景を写します"



- シーンを選ぶ
- **1.** 撮影モードにして【BS】 を押す

ベストショットモードにな り、15個のシーン一覧が表 示されます。

 初期状態では "□" (オート)が選択されて います。



枠(現在選択されているシーン)

- 2. 【▲】【▼】【▲】【▶】で枠を移動し、シーンを選ぶ
 - 【▲】【▼】を押していくと画面が切り替わり、別のシーン 一覧が表示されます。
 - ズームレバーを【〔〕]または【[…]]にスライドさせると、 選んだシーンの説明画面が表示されます。この画面で、どんな設定になるかを確認できます(65ページ)。ズームレバーを【〔〕]または【[…]]にスライドさせると一覧に戻ります。
 - "オート"での撮影に戻るには、シーン番号10"□" (オート)を選んでください。シーンの一覧またはシーン の説明画面が表示されている状態で【MENU】を押すと、 枠が"□"(オート)へジャンプします。

3. 【SET】を押して、選んだシーンに決める

撮影できる状態に戻ります。

- 別のシーンに切り替えるまで、同じシーンの設定で撮影 されます。
- 別のシーンを選び直すには、手順1からの操作を繰り返します。
- 4. シャッターを押して撮影する
 - "回 ムービー"のシーンを選択した場合は、シャッター で撮影の開始と終了を行います(60ページ)。

🜞 重要

- "夜景を写します"、"花火を写します"ではシャッター速度 が遅くなります。このシーンでは画像にノイズが発生する ため、自動的にノイズ低減処理をしています。このため、撮 影が終わるまでの時間がシャッター速度に比べて長くなり ます。その間はキー操作をしないでください。また、手ブレ を防ぐため、三脚の使用をおすすめします。
- 本機にはオークションサイトへの出展品を撮影する"オー クション"のシーンを収録しています。このシーンで撮影し た画像は専用のフォルダに記録されますので、パソコンで 簡単に検索することができます(155ページ)。

 本機にはYouTubeサイトへアップロードするのに最適な 動画が撮影できる "YouTube"のシーンを収録しています。 このシーンで撮影した動画は専用のフォルダに記録されま すので、パソコンで簡単に検索することができます(155 ページ)。

なお、このシーンで撮影した動画は「画質:Normal」となります。また、撮影時間は最大10分となります。

- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影された ものではありません。
- 被写体の条件によっては、充分な効果が得られなかったり、 正しく撮影されない場合があります。
- 選んだシーンの設定内容は変更することができますが、 シーンを選び直したり、電源を入れ直すと、設定内容は初期 状態に戻ります。変更した内容を何度も使いたいときは、カ スタム登録してください(65ページ)。



- 【▲】【▼】【◀】【▶】で"BEST SHOT" (新規登録)のシーン を選び、【SET】を押す
- 3. 【◀】【▶】で登録したい静止画を選ぶ

【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押す 登録したシーンには、"マイベストショット"という名前が 付きます。

¥ 重要

内蔵メモリーをフォーマット(129ページ)すると、カスタム登録したシーンファイルは消えてしまいます。

参考

- 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
- 登録したシーン番号は、登録した順にU1、U2・・・となります。
- 登録される設定内容は下記の通りです。
 顔認識、フォーカスモード、EVシフト、ホワイトバランス、フラッシュモード、ISO感度、測光方式、フラッシュ光量、フラッシュアシスト、カラーフィルター、シャープネス、彩度、コントラスト
- あらかじめカメラに収録されているシーン以外に、最大 999件まで登録できます。
- カスタム登録したシーンは、内蔵メモリー内の「SCENE」 フォルダに保存されます(155ページ)。

マイベストショットを削除する

自分で登録(カスタム登録)したマイベストショットは以下の手 順で削除することができます。

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 2. ズームレバーをスライドさせて、説明画面を表示させる
- 3. 【◀】【▶】で削除したいマイベストショットを選ぶ
- 4. 【▼】(4 面)を押す
- 5. 【▲】【▼】で"解除"を選び、【SET】を押す 選択したマイベストショットが削除され、次のシーン(マイ ベストショットまたは新規登録)が表示されます。
- 6. 【◀】【▶】で別のシーンを選び、【SET】を押す
 - 撮影できる状態に戻ります。

手ブレや被写体ブレを軽減する

遠くの被写体を望遠で撮影したり、動きの速い被写体を撮影し たり、薄暗い場所で撮影したりするときに画像がぼやけたり流 れて見えることがあります。これはシャッターを押すときにカ メラが動いたり(手ブレ)、被写体の動きが速すぎる(被写体ブ レ)ことが原因です。ブレ軽減の機能を使って、このようなプレ を少なくすることができます。 次のどちらかの操作でブレ軽減の機能を選んでください。

■ ベストショットから選ぶ

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【▲】【◆】で"ブレ軽減"のシーンを選び、【SET】を押す 次に別のシーンを選ぶまで"ブレ軽減"のシーン設定で静止 画撮影できます。

■ 操作パネルから選ぶ

- 1. 撮影モードにして【SET】を押す
- 【▲】【▼】で操作パネルの上から5番目の項目(ブレ軽減) を選ぶ

- 3. 【◀】【▶】で"オート"を選び、【SET】を押す
 - ブレ軽減撮影に設定すると、液晶モニターに"(で)"が表示 されます。

ブレ軽減の機能を使わないときは、ここで"切"を選びます。

¥ 重要

- ISO感度を「オート」にしていないと、ブレ軽減の機能が働きません(83ページ)。
- フラッシュが自動で発光した、または強制発光やソフト発光に設定した場合、ブレ軽減アイコン"ご?"は表示されていますが、ブレ軽減機能は働きません。
- ブレ軽減で撮影した画像は、多少ざらついた感じがしたり 解像感が劣る場合があります。
- 手ブレや被写体ブレが大きい場合、ブレを軽減できない場合があります。
- 動画を撮影するときも、手ブレを軽減しながら撮影することができます。ただし、ブレ軽減できるのは手ブレだけで、 被写体ブレには効果がありません(60ページ)。
- シャッター速度が遅くなる撮影をすると、手ブレによるブレを軽減できない場合があります。その場合は、三脚を使用してください。
- 撮影時の明るさに応じて、撮影した画像にノイズが発生するため、自動的にノイズ低減処理を行う場合があります。この場合、撮影が終了するまでの時間が長くなります。

フラッシュなしで明るく撮影する

暗い場所で撮影するとき、カメラの感度を上げることにより、フ ラッシュを使わなくても画像が暗くなるのを防ぐことができます。





通常の撮影 (フラッシュ発光時)

感度を上げた撮影

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【▲】【▶】で"高感度"のシーンを選び、【SET】を 押す

3. シャッターを押して撮影する

次に別のシーンを選ぶまで"高感度"のシーン設定で撮影で きます。

重要

- フラッシュが自動で発光した、または強制発光やソフト発 光に設定した場合、高感度撮影機能は働きません。
- "高感度"のシーンで撮影した画像は、多少ざらついた感じがしたり解像感がやや劣る場合があります。
- 極端に暗い環境では、思ったように明るく撮影できない場合があります。
- シャッター速度が遅くなる撮影をする場合、手ブレを防ぐ ために三脚を使用してください。
- 撮影時の明るさに応じて、撮影した画像にノイズが発生するため、自動的にノイズ低減処理を行う場合があります。この場合、撮影が終了するまでの時間が長くなります。

名刺や書類などを撮影する(ビジネスショット)

名刺や書類、ホワイトボードなどの撮影時に、撮影の立ち位置の 都合によって正面からは撮影できない場合があります。ビジネ スショットのシーンを選べば、斜めから撮影した画像を正面か ら撮影したかのように補正して撮影することができます。



ベストショットに2つのビジネスショットのシーンが用意されています。

- "名刺や書類を写します"
- "ホワイトボードなどを写 します"



■ ビジネスショットのシーンを選ぶ

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【▲】【◆】【●】で"名刺や書類を写します"または"ホワイトボードなどを写します"のシーンを選び、【SET】を押す

次に別のシーンを選ぶまでビジネスショットでの撮影がで きます。

ビジネスショットで撮影する

 ビジネスショットのシーン を選んだ後、シャッターを 押す



補正確認画面が表示されま す。

赤い枠内が補正される領域です。黒い枠が表示される場合、

黒い枠は別の補正領域候補を示しています。別の補正領域 候補が表示されない場合は手順3に進んでください。

補正候補が検出できない場合は、補正確認画面が表示されず、「この画像は補正できませんでした」というメッセージが表示されます。その後、補正されずに画像が保存されます。

2. 【◀】【▶】で補正領域を選ぶ

- 【▲】【▼】で"補正"を選び、【SET】を押す ^{*} ^{*}
 - 補正せずに保存するときは、"キャンセル"を選びます。

🗰 重要

- 被写体が液晶モニターに収まるような構図で撮影してください。被写体が液晶モニターからはみ出すと補正できません。
- 被写体と背景が同色の場合、補正できません。被写体と背景の境界がはっきりするような構図で撮影してください。
- ビジネスショットで撮影中は、デジタルズームは使用できません。光学ズームのみ使用できます。
- ビジネスショットでは、大きな撮影サイズに設定しても2M (1600×1200 pixels)の画像として撮影されます。ただ し、撮影サイズの設定が2M(1600×1200 pixels)よりも 小さい場合には、設定されている通りのサイズで撮影され ます。

証明写真を撮影する

 1つの撮影画像から、さまざまなサイズの証明写真を簡単に作成 することができます。
 作成される証明写真のサイズは下記の通りです。
 30×24mm、40×30mm、45×35mm、50×40mm、
 55×45mm

■ "証明写真"のシーンを選ぶ

- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【◀】【▶】で"証明写真"のシーンを選び、【SET】 を押す 次に別のシーンを選ぶまで"証明写真"のシーン設定で撮影 ができます。
- "証明写真"のシーンで撮影する
- 液晶モニターに表示される フレームに被写体を合わ せ、シャッターを押して仮 撮影する
 - この操作で撮影した画像 は、手順3を行うまではカ メラに保存されません。



2. 液晶モニターに表示されるフレームに被写体を合わせる



顔が楕円形の枠いっぱいに収まるように調整してください。また、頭のラインと顎のラインからはみ出ないように調 整してください。

【▲】【▼】【◀】【▶】: 被写体を上下左右に移動 ズームボタン : 被写体を拡大/縮小

3.【SET】を押す

撮影した画像がカメラに保存されます。

🗼 重要

保存される画像サイズは、撮影サイズの設定内容に関わらず、5M(2560×1920 pixels)となります。

70 撮りたいシーンを選んで撮影する(ベストショット)

■ 証明写真を印刷する

証明写真用に保存された画像を印刷すると、複数のサイズの証 明写真が1枚の用紙にレイアウトされて印刷されますので、必要 なサイズの写真を切り抜いてご使用ください。

🜞 重要

- 実際に印刷されるサイズは、目的のサイズより多少大きめのサイズとなります。
- この画像を印刷する際は、必ず用紙サイズを"はがき"に設定してください(132ページ)。他の用紙サイズで印刷すると、適切なサイズの証明写真になりません。
- この画像を印刷する際は、必ずプリンター側を"フチなし"
 に設定してください。詳しくはプリンターの取扱説明書を ご覧ください。

古く色あせた写真を蘇らせる (よみがえりショット)

古く色あせた写真を撮影し、あせた色を補正することにより、古 い写真を最新のデジタル写真として蘇らせることができます。

■ よみがえりショット機能で撮影する前に

- 写真が液晶モニターに収まるような構図で撮影してください。
- 写真と背景の境界がはっきりするような構図で、できるだけ 画面いっぱいに撮影してください。
- 写真表面に光の反射が写り込まないように撮影してください。
- 縦向きで撮影された写真は、必ず写真が横向き(横長の状態) になるような構図で撮影してください。

参考

写真の撮影時に、被写体に対してカメラが傾いていると、「台形歪み」(長方形の被写体が遠近の関係で台形として写ってしまう状態)が生じます。本機は写真の輪郭を検出し、画像を自動的に補正するため、撮影時の多少の台形歪みを気にする必要はありません。

- よみがえりショットのシーンを選ぶ
- 1. 撮影モードにして【BS】を押す
- 【▲】【▼】【◀】【◆】で"古い写真を写します"のシーンを選び、【SET】を押す

次に別のシーンを選ぶまで "古い写真を写します" のシーン 設定で撮影ができます。

■ よみがえりショット機能で撮影する

- シャッターを押して、写真 を撮影する
 - 写真の輪郭確認画面を表示し、続けて撮影した元画像を保存します。ただし、写真の輪郭が検出できない場合は輪郭確認画面が表示されずエラーメッセージが表示。



ず、エラーメッセージが表示されます(171ページ)。

- 2. 【◀】【▶】で輪郭候補を選ぶ
- 3. 【▲】【▼】で"決定"を選び、【SET】を押す 画像の一部を切り抜く操作(トリミング)に入り、液晶モニ ターに画像を切り抜くための枠が表示されます。
 - 補正せずに保存するときは、"キャンセル"を選びます。

 ズームレバーをスライドさ せて枠を拡大/縮小し、補 正する画像の大きさを決め る



5. 【▲】【▼】【◀】【◆】ご切り抜 きたい部分に枠を移動して 補正する画像の位置を決め、【SET】を押す

あせた色を自動的に補正し、画像を保存します。

- 画像の周囲に余白を付けたくない場合は、撮影した写真よりも補正画像を小さく指定してください。
- •【MENU】を押すと色の補正を中止し、撮影した元画像を 保存します。

🗰 重要

- よみがえりショット機能で撮影中は、デジタルズームは使用できません。光学ズームのみ使用できます。
- 下記の場合は、撮影した写真の認識ができません。
 - 撮影した写真が液晶モニターからはみ出した場合
 - 写真と背景が同色の場合
- よみがえりショットでは、大きな撮影サイズに設定しても 2M(1600×1200 pixels)の画像として撮影されます。 ただし、撮影サイズの設定が2M(1600×1200 pixels)よ りも小さい場合には、設定されている通りのサイズで撮影 されます。
- 写真の退色度合いにより、補正の効果が表れない場合があります。

複数の写真を組み合わせて撮影する (レイアウトショット)

複数のフレーム毎に撮影を行い、最終的にレイアウトした画像のみを記録する機能です。

- レイアウトショット (2枚撮影)
- レイアウトショット (3枚撮影)





- 1. 撮影モードにして、【BS】を押す
- 【▲】【▼】【◀】【●】で"レイアウトショット"(2枚撮影)または"レイアウトショット"(3枚撮影)を選び、【SET】を 押す
- 3. 【◀】【▶】で背景の色を変える

4. シャッターを押して撮影する

1枚目を撮影し終わると、次 の写真が撮影できる状態にな りますので、2枚目以降も同 様にシャッターを押して撮影 してください。

 撮影中に【SET】を押すと、 配置されている状態の画 面と現在撮影している画 のみ画面を切り替える。



像のみ画面を切り替えることができます。

- 【MENU】を押すと撮影済みの画像が消え、1枚目の撮影に 戻ります。
- レイアウト上のすべての写真を撮影しないと、写真は保存されません。

¥ 重要

- 保存される画像は、レイアウトされた画像のみです。
- 画像サイズは自動的に7M(3072×2304 pixels)に固定され、保存されます。
- ISO感度は"オート"に、AFエリアは"スポット"に自動的に 固定されます。
- レイアウトショットでは、下記の機能が使用できません。
 デジタルズーム
 - セルフタイマー
 - 連写
 - 顔認識

撮りたいシーンを選んで撮影する(ベストショット) 73

被写体を自動的に追従して撮影する (オートフレーミング)

動きのある被写体に追従し、被写体が中心にある写真を撮ることができます。

- 1. 撮影モードにして、【BS】を押す
- 【▲】【◆】【◆】【◆】で"オートフレーミング"を選び、 【SET】を押す
- 撮影したい被写体にフォー カスフレームを合わせて シャッターを半押ししたま まにする

フォーカスフレームとトリミ ング枠が被写体の動きに追従 します。

 シャッターを半押しして いる間、被写体にピントを 合わせ続けます。



トリミング枠

フォーカスフレーム

0

4. シャッターを全押しして撮影する

トリミング枠で囲まれた部分のみ保存されます。



- 保存される画像はトリミング枠で囲まれた部分のみです。
- 画像サイズは自動的に5M(2560×1920 pixels)に固定され、保存されます。
- オートフレーミングでは、下記の機能が使用できません。
 - タイムスタンプ
 - セルフタイマー
 - 連写
 - 顔認識
- 動きの速い被写体には、正しく追従しないことがあります。
 その場合は、シャッターの半押しをやめ、再度撮影したい被
 写体にフォーカスフレームを合わせ直してシャッターを半
 押ししてください。
- "オートフレーミング"では、画像サイズが"5M(2560× 1920 pixels)"になりますが、画像に劣化が生じない範囲 は、3倍となります(45ページ)。